

## 拠出金名：国際連合大学拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				719,829千円	
国際機関等名	国際連合大学(注1) (英文名称・略称) United Nations University				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省広報文化交流部国際文化協力室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	269,663	2,386		1米ドル = 113円	100
平成19年度	276,822	2,386		1米ドル = 116円	100
平成18年度	302,114	2,722		1米ドル = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	国連大学本部の事業活動、本部施設の維持管理に対する支援及び国連大学高等研究所の学術活動費に対する支援。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2006-2007年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入	148,403千米 <sup>ドル</sup>
1位	日本	7,150	27.4	当該年度の支出	79,435千米 <sup>ドル</sup>
2位	マレーシア	4,900	18.7	次年度への繰越	68,028千米 <sup>ドル</sup>
3位	ドイツ	4,887	18.7	会計検査機関名	
4位	オランダ	3,453	13.2	国連会計検査委員会	
5位	カナダ	1,834	7.0	(UN Board of Auditors)	
(現在の構成員の出身国: 仏、中、南)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国連大学は我が国に本部を擁する唯一の国連機関。平成19年9月に就任した現学長の下で、日本との繋がりを重視し、我が国の大学・研究機関、地方自治体、企業と積極的に連携しながら事業の展開に努めている。特に、来年秋に開始予定の大学院プログラムは、国内有力大学との協力を基礎を置くものであり高く評価。また、国連大学による途上国研究者の活用・育成への貢献を我が国の国際貢献の一環と認識。国連システムのシンクタンク機能に加え、上記の日本の産学との連携による活動に期待。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
国連機関としての外部監査、内部監査を実施しており、右結果を反映した改革を行っている。平成19年には官房機能の一部をマレーシアに移転し、大幅な経費削減を実現。現学長の下、国連大学改革のための戦略計画を定め、副学長の役割を見直した新体制による機能強化、国連諸機関との連携強化に努めるとともに、限られた予算の効率的運用、事業活動の国内外への広報発信に努力している。					
邦人職員数	21人		当該機関全体の職員数(注4)	110人	
うち幹部以上(注3)	うち 1人		及び邦人職員が占める率	19.1%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
副学長		武内和彦		東京大学教授との兼任 (平成20年7月着任)	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
空席ポストへの邦人採用、幹部を含む邦人職員のランクアップを支援する。					

(注1)この国際機関には外務省の他、文部科学省、環境省が拠出。

(注2)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注3)邦人職員数については平成21年9月現在の数値。

(注4)機関全体の職員数は平成21年12月現在の専門職の職員数。